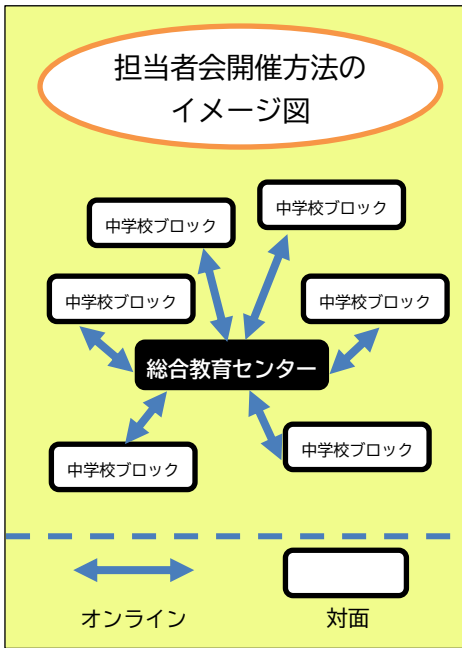


ふれあい つながり かわら版

今年度の担当者会は、 ハイブリッド型です。

新学期が始まり、一か月が過ぎようとしています。今年度も引き続き取組を進めていただくとともに、改めてこれまでの取組を見つめ直すことで、今後も見据えた持続可能な形での中小一貫教育の在り方について、各ブロックで検討していただければと思います。

今年度の担当者会は、オンラインと対面のハイブリッド形式で開催します。全体会はオンラインで、ブロックごとの話し合いは対面で行う予定です。100名を超える担当者がオンラインで同時につながることは、システム上できません。しかしながら、ブロックごとに接続することで、システム上の問題を解消し、ブロックごとに対面で話し合う機会を設けました。アンケートフォームを用意しておりますので、担当者会の終了後の回答をよろしく願います。



姫路市教育委員会
学校指導課
中小一貫教育・ICT教育推進係
(079)221-2120



中小一貫教育

× ICT

？

となりの学校
は、どう活用
しているの？

ブランドカリキュラムを作成中のブロックにおいては、重点化する領域に「一人一台端末の活用」の視点をに入れていただくことが可能です。また、重点化する領域に取り上げないまでも、留意すべき事項やチェックリスト、保護者との間で事前に確認あるいは共有しておくことが望ましいポイント等を、ブロックごとに話し合ってみてください。そうすることで、中小一貫教育とICT活用がかけ合わせられ、「子供の学びのつながり」「小中教職員のつながり」「児童・生徒のつながり」が進み、教育効果の拡大が期待できると考えます。

学習指導要領が目指す「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現するためにICTの活用が、重要であるということ

は、みなさん認識をしておられると思います。その活用の中で、デジタル教科書は、今後大きな役割を果たすことが期待されています。

昨年、文部科学省の有識者会議において、「令和6年度を、デジタル教科書

デジタル教科書を活用した学習方法の例

- 拡大** 教科書を拡大して表示することができる。
- 書き込み** 教科書にペンやマーカーで簡単に書き込んだり、消したりできる。
- 保存** 教科書に書き込んだ内容を保存・表示することができる。
- 背景・文字色の変更・反転** 教科書の背景色・文字色を変更・反転することができる。
- 本文・図表等の抜き出し** ※教科書の文章や図表などを抜き出して活用することができる。
- 機械音声読み上げ** 教科書の文章を機械音声で読み上げることができる。

※他のデジタル教材と一体的に使用することで可能となる学習方法例

デジタル教科書を活用することで、教科書の内容をより理解しやすくなる。また、個に応じた学びの充実を図り、調べ学習等の探究的な学びにつながることを期待される。さらに、授業準備などの時間が短縮されることで、教職員が子供と向き合う時間が増えることが期待される。

※参考 文部科学省『学習者用デジタル教科書実践事例集』2019

小中一貫教育については、平成27年に学校教育法等が改正され、平成28年度から、義務教育学校、中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校が制度化されました。制度化から5年を経て、全国において、多様で彩り豊かな取組が蓄積され、各地域の課題や実情を踏まえた独自の工夫が進展してきました。今後、より一層の充実が図られるよう、全国各地の学校から特色ある取組や工夫を盛り込んだ「**小中一貫した教育課程の編成・実施等に関する事例集**—第2版—」が文部科学省から発表されました。

中央教育審議会でも言及されているように、現在、9年間を見通した新時代の義務教育の在り方を検討していくことが必要とされています。姫路市以外を取組にふれることで、ブランドカリキュラム作成の参考にしていただいたり、見直しの際の視点として取り入れていただいたりすることで、姫路市の中小一貫教育をより発展させていくことにつながると考えます。一度、目を通していただければと思います。



小中一貫した教育課程の編成・実施等に関する事例集(第2版)

もっと知りたい！ 小中一貫教育

の本格的な導入をする最初の契機として捉え、着実に取組を進めるべきである。」と提言が出されました。現在、学校現場におけるデジタル教科書の活用に関する実証研究が、発達段階、教科の特性等の考慮要素を含め、今後の在り方について、様々な角度から進められています。デジタル教科書は新しい取組です。教育委員会事務局としまして、実際の授業における課題を把握し、学校現場をサポートしてまいります。